

次 第

議 事

(1) 今年度実施事業について(報告事項)

- 1.米泉号(コミュニティバス)運行開始(R1.10.1～) 事業②,⑫関係
 - ・下松市初の自家用有償旅客運送(市町村運営有償運送)を開始。
 - ・国土交通省の令和2年度(運行年度R1.10.1～R2.9.30)地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金を申請し、認定された。
 - ・米泉号の運行実績等の詳細については、別添資料1を参照のこと。

- 2.市道橋上通りへのエレベーターの設置・供用開始(R1.8末～) 事業⑦関係

「下松駅バリアフリー事業」として、JR山陽線下松駅改札外側の通路(市道橋上通り)にエレベーターが設置され、昨年2月に供用開始した駅改札内エレベーターとともに供用を開始した。

- 3.バス停待合環境整備を検討 事業⑤関係
 - ・米泉号(コミュニティバス)の米川小学校前(菅沢)バス停を設置。
 - ・そのほかのバス停については、現状では実施困難であり、進捗なし。

- 4.市内循環線の検討 事業③関係

今年度第1回協議会において提示した3つの案について検討した以降は、優先順位が高い笠戸島地区等での新たな移動手段等を検討する必要から、検討が進まなかった。

- 5.公共交通マップ 事業⑧関係
 - ・昨年度末に作成した公共交通マップを4月に全戸配布した。
 - ・令和2年4月現在での路線バスの運行経路、経路廃止、米泉号の運行開始を反映した路線データの更新を行った。

- 6.笠戸島地区・久保地区での協議 事業②,⑫,⑬,⑮関係

両地区での高齢者等へ対応した移動手段の確保のため、笠戸島地区では1回、久保地区では2回、地元の自治会連合会長や民生委員等が参画する会議に参加し、現状と課題、今後の地域の意向等について協議した。

(2) 来年度の実施予定事業について（報告事項）

1.米泉号（コミュニティバス）に関するアンケート調査等の実施 事業②関係
多くの方に使用していただけるコミュニティバスとするために、米川地区及びコミュニティバス車内でのアンケート調査を実施し、可能な限り意見を反映する。

2.笠戸島地区・久保地区での新たな移動手段確保等を含めた検討

事業②,⑫,⑬,⑮関係

- ・笠戸島地区では、グループワーク等を実施し、今後の検討材料とする。
- ・久保地区では、東陽を除く地区のおよそ50歳以上を対象としたアンケート調査（自治会経由での配布）を実施し、今後の検討の資料とする。

3.公共交通マップの更新 事業⑧関係

令和3年4月1日時点の掲載情報へ更新する。（周南市・公共交通事業者等関係者と協働により実施。）

4.その他

計画年次の事業や過年度実施事業のうち、実施可能な内容について精査しながら事業を進める。

以上。